

- 9月17日（日）、台風18号により大分県津久見市では浸水や土砂崩れなどの被害が発生。
- 九州地方整備局は、一刻も早い被災状況の把握と災害復旧対策の技術的支援を行うため、津久見市にTEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）を派遣。



九州地整が保有する防災ヘリ「はるかぜ」からの上空調査

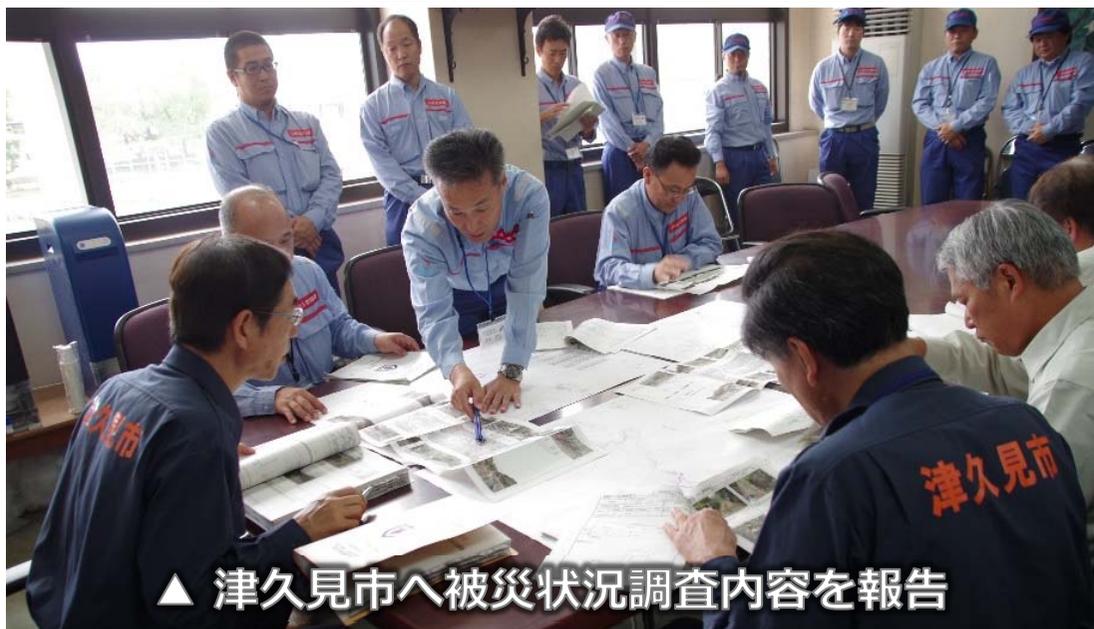
○ 9月18日（月）、九州地整の防災ヘリ「はるかぜ」で、津久見市などの被災現場を上空から調査し、被災した自治体にリアルタイムで情報を提供。上空からの映像で土砂崩れ、道路陥没を確認。



- 9月19日（火）、被災した自治体へ被害情報を提供し、応急復旧に向けた技術支援を行うため、TEC-FORCE・リエゾンを派遣。TEC-FORCEは、津久見市からの要請を受けて現地調査に着手。



○ H29.9.26 (火) 被災状況調査を完了したTEC-FORCEが、調査結果をとりまとめ、津久見市長に状況調査内容を報告しました。



▲ 津久見市へ被災状況調査内容を報告



▲ 調査内容を確認する川野幸男津久見市長



▲ 川野幸男津久見市長に調査報告書を手交



▲ TEC-FORCE帰還後、今後の活動に繋げるため成果報告会を実施